

## 6-2 園庭の構成の仕方

幼稚園には一般的に園庭があります。園庭の周囲は樹木や草花、柵などで囲われており、園児がその中で安全に遊べるための工夫がなされています。自由に走りまわって遊べるフリースペースを中心に、子どもの動線を考慮していくつかの固定遊具が配置されています。

### 園庭の植物



園庭の周囲には樹木が植えられています。園庭の隅や玄関付近などにはブロックやレンガで作られた花壇や畑、プランタなどが置かれていて、草花や野菜を栽培しています。



植物の開花や実を結ぶことを観察しながら、植物の成長を実感したり、季節の移り変わりを感じとったりしていく、身近な教材にもなっています。

### 水場

外遊びの後に、手や足を洗ったり、入れ物に水を溜めたりして、花壇や畑、砂場などに水を運ぶためなどに使われます。

子どもたちの動きを考えて、教室や砂場の近くに設置されていることが多いです。

## 固定遊具

園庭には、一般的に以下のような固定遊具が、子どもの安全性や動線を考慮して設置されています。

### <砂場>

山を作ったり、穴を掘ったりしています。

砂場の近くにはバケツやシャベル、お皿やコップなどの遊具が入ったカゴが用意されています。

子どもたちは、自分の気に入った遊具を選び取って砂場遊びを楽しみます。

個々に遊んでいる子どもたちの中に教師が加わり、ままごと遊びにつなげて行ったり、トンネルや川を作ることを呼びかけたりして、協同遊びへと導くこともあります。



### すべり台

階段を上って反対側からすべり下りる、という行動を繰り返して遊びます。

数人で遊ぶ場合には、順番を待つ、前にいる子どもを押さない、途中で止まらない、下から登ってきてすべり下りようとしている子どもの妨害をしてはいけないなど、遊びのルールも学びます。

ただ単に高い所から「すべり下りる」というスリルを味わうだけでなく、数人で一緒にすべり下りるなど、子どもたちはいろいろと工夫をこらして滑り台を使って遊ぶことを楽しみます。

すべり台が無い場合は、斜面につなぎ合わせた段ボールを敷いて、すべり台代わりに遊ぶことも出来ます。



### ジャングルジム

上の方を目指して少しずつよじ登って行きます。

一番上に登れば、いつもと違った高い視点から園庭の風景を見下ろすことができます。

ジャングルジムでの遊びはスリルやおもしろさを体験できると同時に「高いところに登った」という達成感を味わうこともできます。

### 鉄棒

最初は手でぶら下がって身体を揺らしたり、足をひっかけて逆さまに見える景色を楽しんだりしています。

慣れてくると、前まわりや逆上がり、片あしかけなどに挑戦して遊びだします。

上手くできる子どもの真似をしたり、教えてもらったり、励まされたりしながら、時間をかけてコツをつかんでいきます。

出来たときには、「やった！」「ひとりでできた！」という達成感や満足感を味わうことができます。



### ブランコ

最初は一人で座り、後ろから教師に押しってもらってゆらゆら揺れる感覚を楽しみます。

そのうち自分の力でこげるようになると、「立ちこぎ」や「2人こぎ」などをして、より高く大きく揺れることを競ったりして遊びます。

ブランコが揺れている時に子どもが前を横切ると大変危険なので、ブランコのコーナーに、柵やプラントを置いて囲いに行っているところが多いです。

## ネット

木や鉄などを組みあわせた枠に、ロープやネットを貼ったものがあれば、登ったりぶら下がったり、渡り歩いたり、いろいろな身体の動きを変えて遊ぶことができます。



## うんてい

うんていは鉄製の橋のようなもので、ぶら下がって身体に反動をつけながら前進したり、上に登って渡り歩いたりして遊びます。

## 山・トンネル

大きな砂場とつなげて設置してあったり、園庭の片隅に設置されていたりします。

山では、一斉に駆け上り、誰が一番に登りつくかを競争したりして遊びます。

山の上で思い切り大きな声を出して友達に呼びかけてみたり、叫んでみたり、思い思いのポーズで滑り下りたり、駆け下りたりしてダイナミックに遊びます。

トンネルは、子どもにとって魅力的な閉ざされた狭い空間です。

かくれんぼの隠れ場所や秘密基地として使われたり、囲われた中でごっこ遊びをひそかに展開して行ったり、頭をぶつけないように身体を丸めて工夫しながら追いかけて通り返したりと、狭い空間を自分たちで占有して遊びます。



### 小さな家

切り落とした木の枝を利用して、  
小さな家を作りました。

子どもはよろこんで中に入って  
遊びます。

ままごとをしたり、窓から外をの  
ぞいてみたり、出たり入ったりし  
ながら開かれた空間と閉ざされ  
た空間を行ったり来たりして、楽  
しく遊びます。



### ベンチ/イス・テーブル

木で作ったベンチやテーブルが園庭にあると  
便利です。

色水遊びやシャボン玉遊びなどの時にも、テ  
ーブルと椅子があると活動がスムーズに進み  
ます。

その日の体調から、園庭で身体を動かして遊  
ぶよりも座ってみんなの様子を見ていたい子  
どもや、仲間に入りきれずにいる子どもの居  
場所にもなります。

### シーソー

板の両端に分かれて、子どもがバーにつかまって  
座ります。

交互に地面をけて、はずみをつけながら上がっ  
たり下がったりの動きを繰り返して遊びます。

向き合って座る相手の人数、また座る位置によっ  
ては釣り合いが取れず、うまく動かなかったり、  
上下に動く速度が違ったりすることを体験して  
いきます。

向こう側の端に座っている相手の表情を見なが  
ら遊べることも魅力のひとつです。